

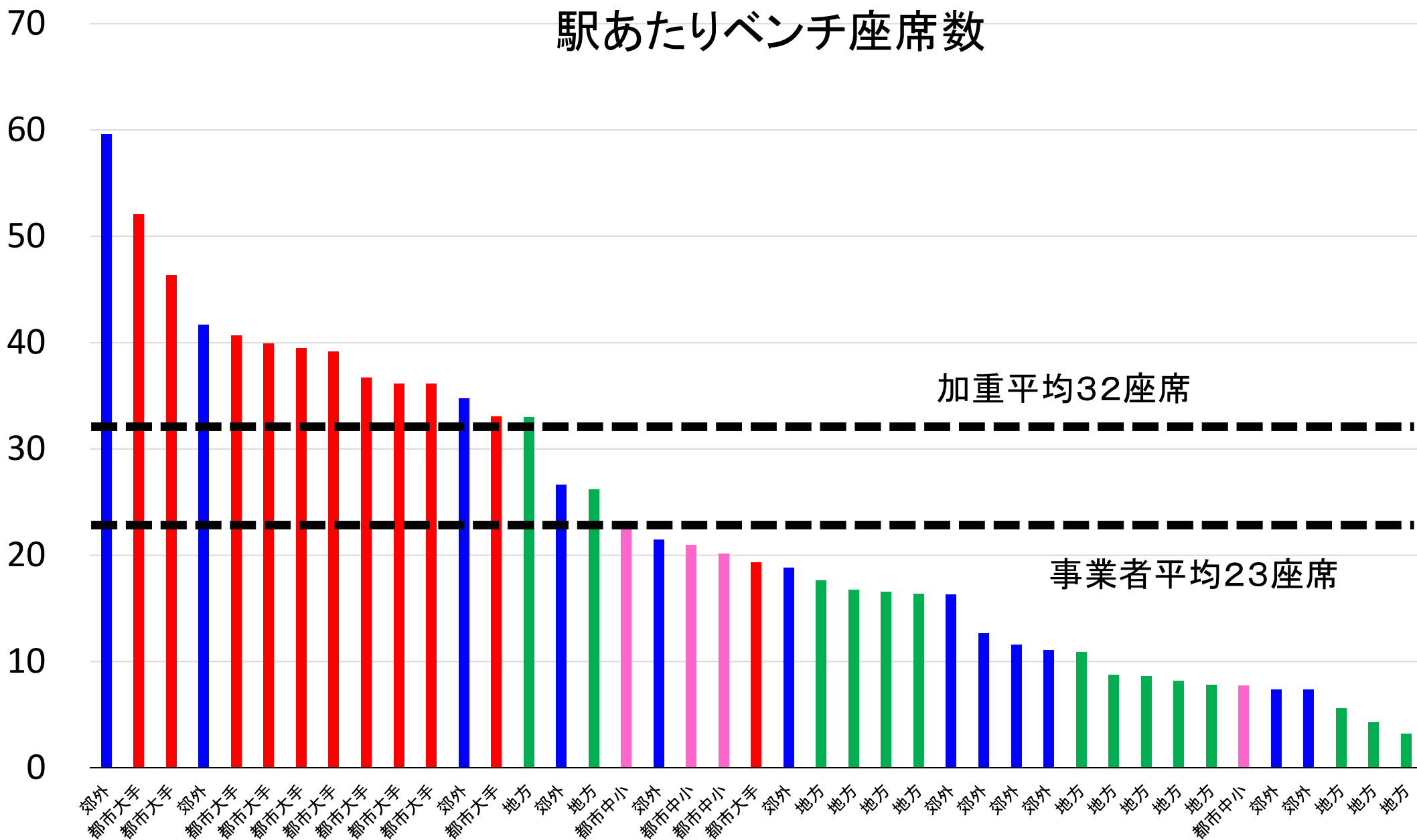
超高齢化社会時代の 公共交通利用環境について (関東の駅のベンチの状況)

42社2185駅70133座席

2017年8月 関東運輸局交通政策部

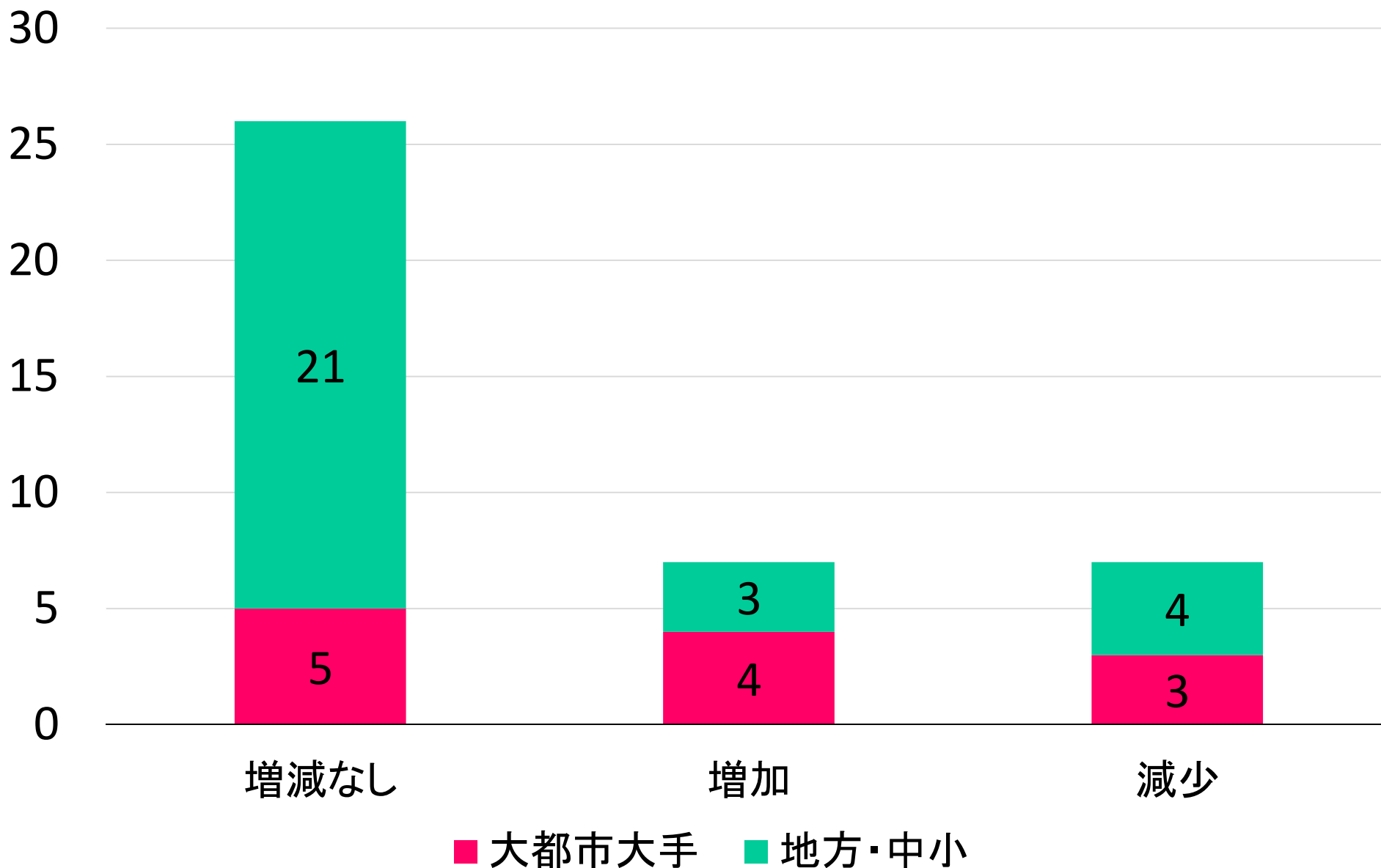
関東の駅におけるベンチの数

－ 会社別分布 －

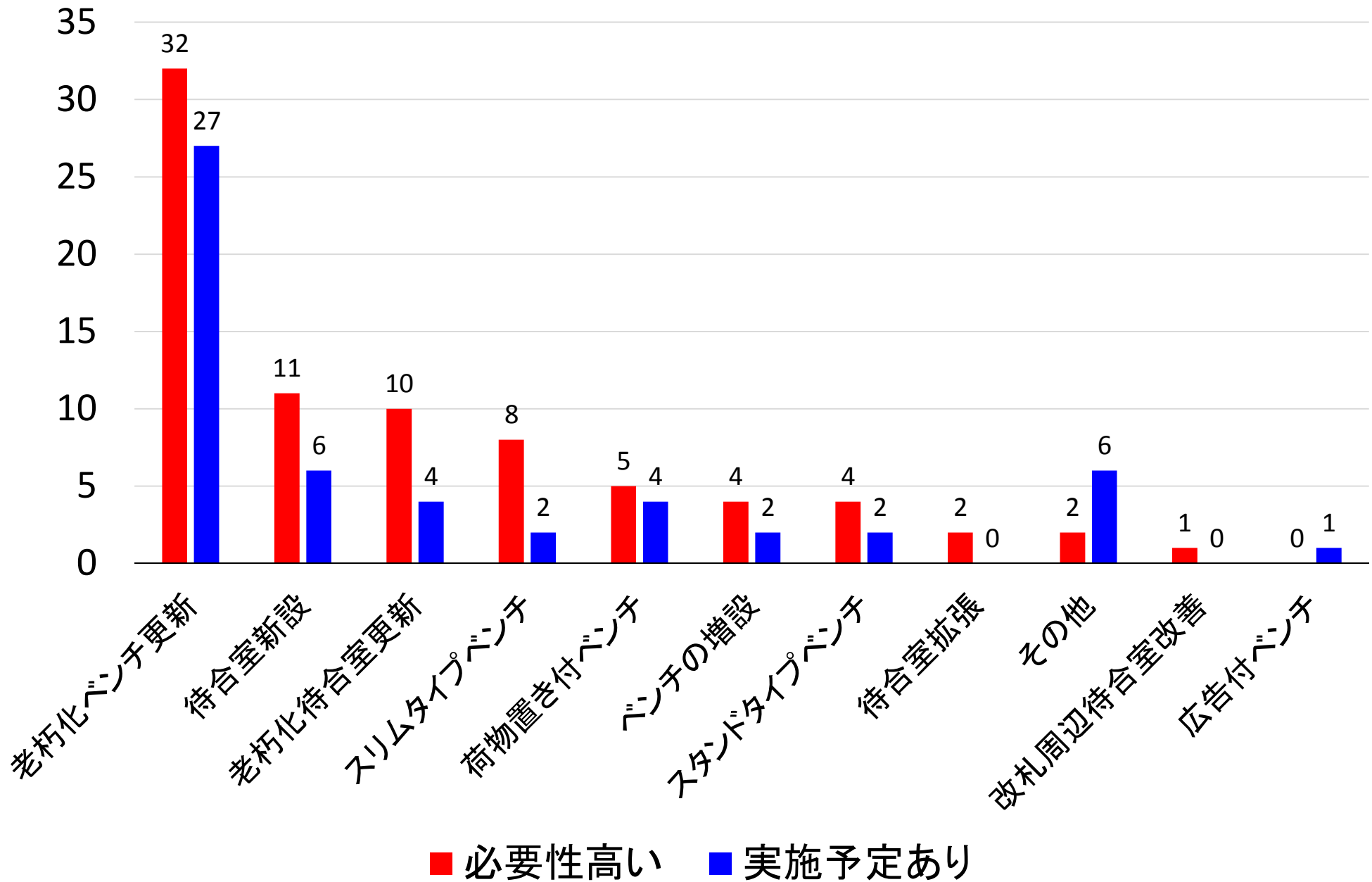


直近3年間のベンチの数の増減

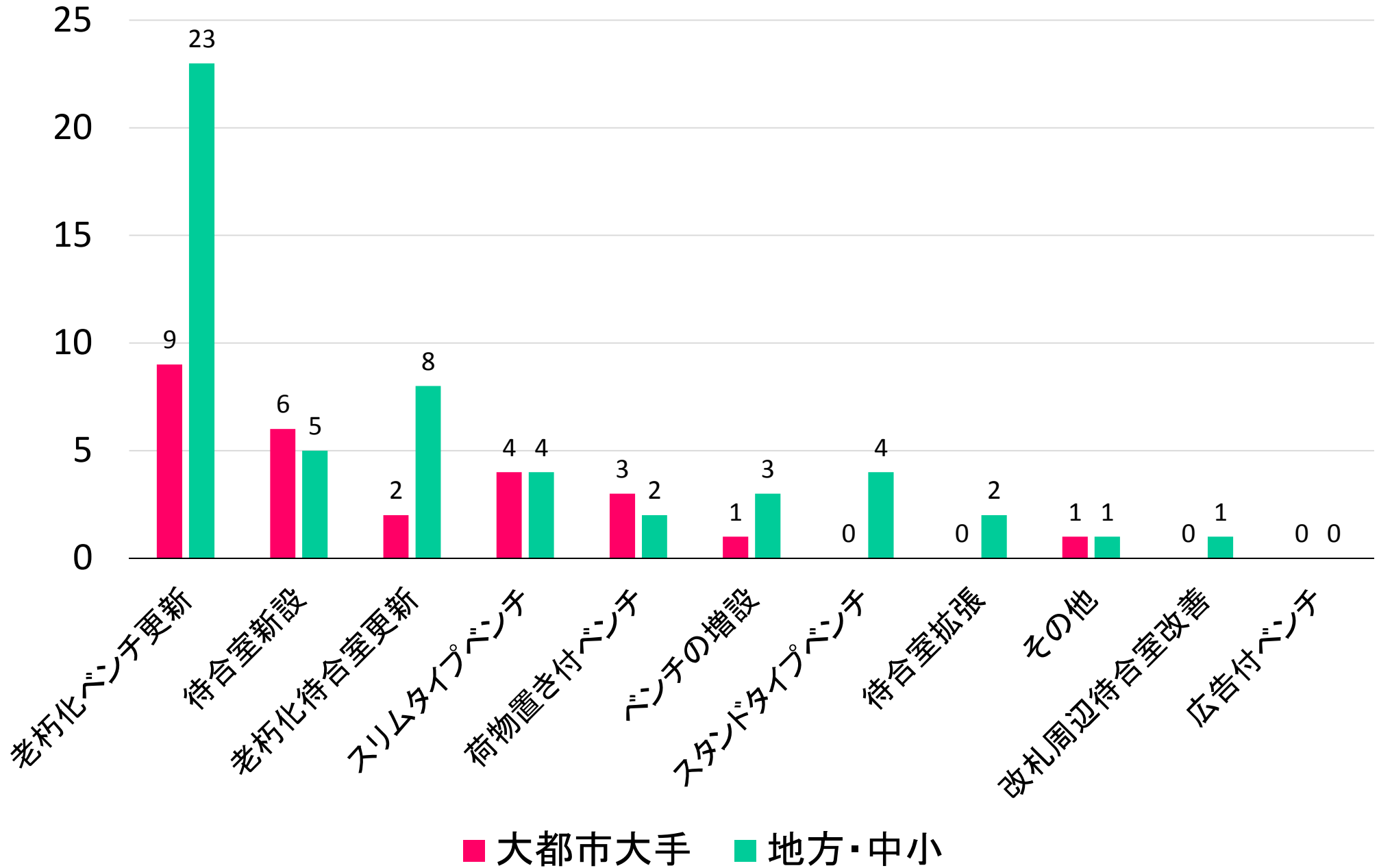
— 大都市大手、地方・中小 別 —



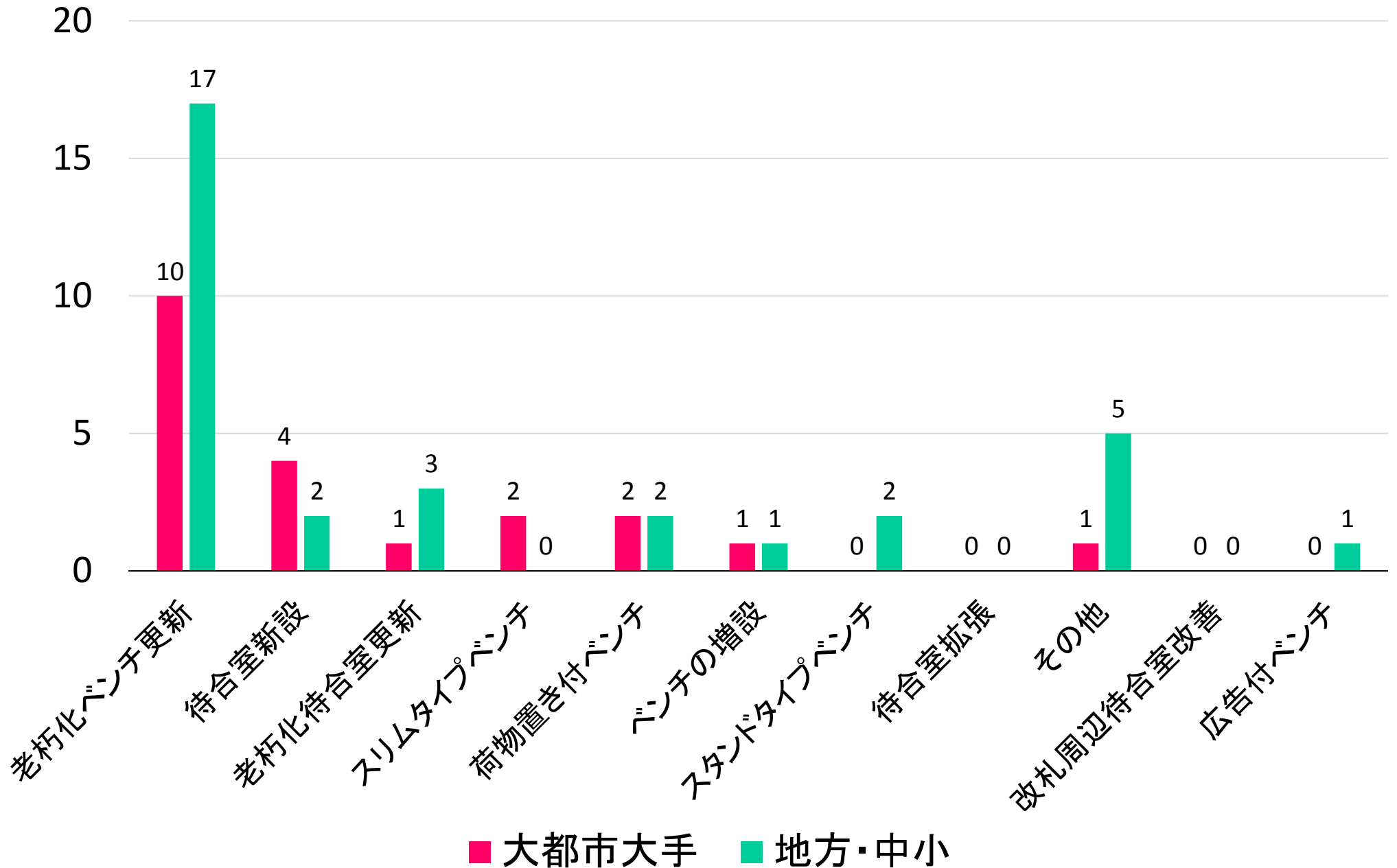
ニーズ認識と実施予定



— 大都市大手、地方・中小 別 —

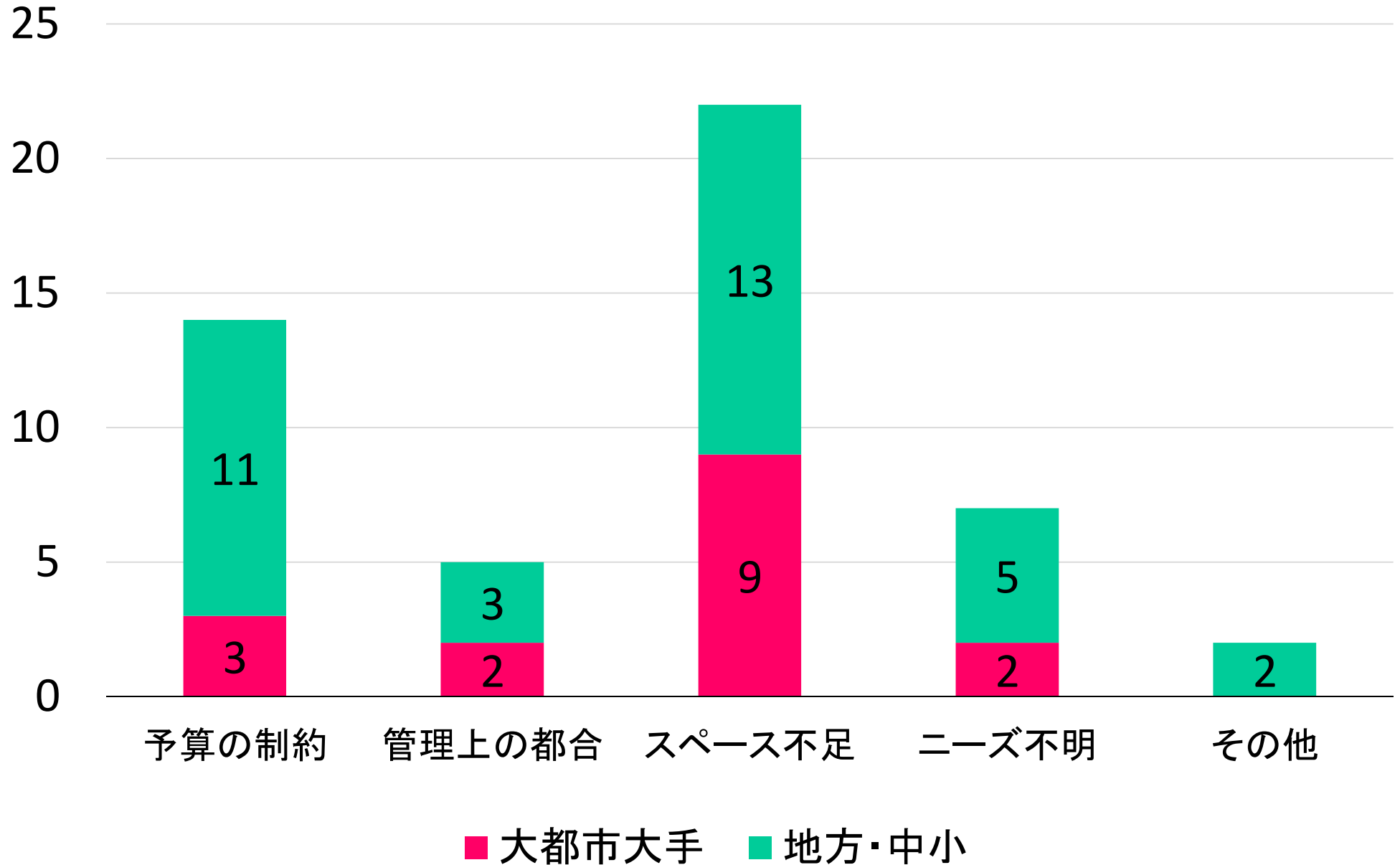


— 大都市大手、地方・中小 別 —



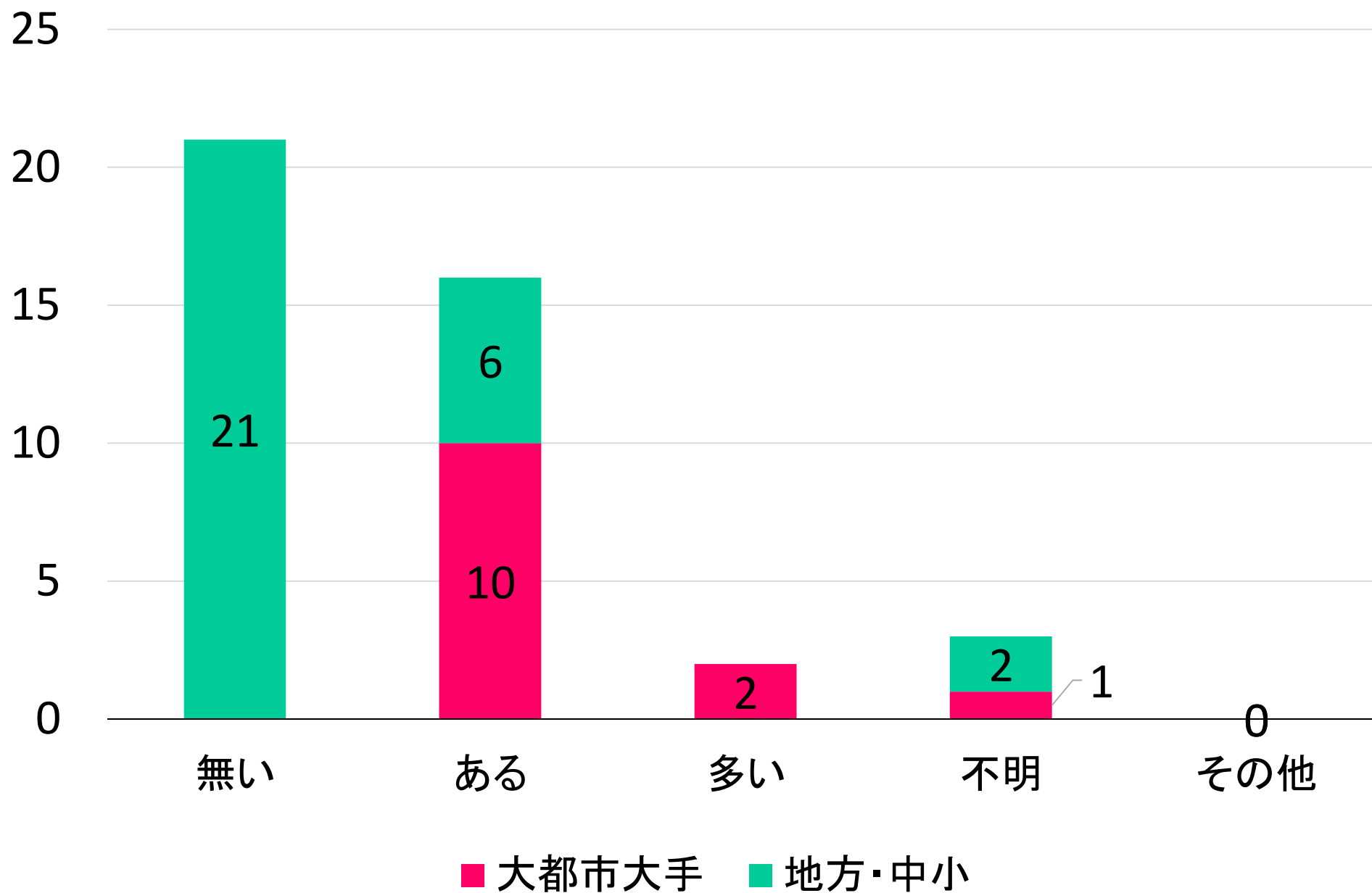
ニーズがあるが実施予定がない理由

－ 大都市大手、地方・中小 別 －



ベンチ等利用者の声の把握状況

－ 大都市大手、地方・中小 別 －



駅のトイレについて

改善の要望はあるが、概ね対応できている 16

改善の要望は多く、引き続き、積極的に取り組んでいきたい 13

改善の要望は多く、本来なら対応したいが、自社単独では投資余力がない 5

その他 8

- 改善の要望があるので、可能な範囲で取り組んでいきたい。
- 特段要望はないが、現在洋便器化工事を順次進めている。
- 要望は多くないが、老朽化が進んでいるためリニューアル工事を進めている。
- 多目的トイレを設置したい駅もあるが、自社単独では投資余力がない。
- 改善の要望は少ないが、改善の必要性を感じる…。ただし自社単独は厳しいと思う。
- トイレ「新設」の要望はあるが、自社単独では投資余力がない。
- 老朽化により、トイレ更新を検討している。
- 改善の要望はないが、引き続き改善に積極的に取り組んでいきたい。

ベンチ等で工夫している事例

－ 大都市大手 －

- ベンチに手摺付のものを導入した。
- 荷物置き付や座席の幅を広げたものを導入し、整備を進めている。
- ベンチ新設の際、酩酊旅客等の軌道転落防止の観点から枕木方向での設置を可能な限り検討している。
- お客さまに快適にご利用頂くため、座席の幅を広くし、荷物置きを設けたベンチを設置した。
- ハイキングシーズン中に混雑する駅において、多客時に開放する切替トイレを設置。
- 各駅のベンチは檜の間伐材を使用し天然素材にこだわっている。
- 駅のラッチ外トイレに、生花を使用した装飾緑化を実施しお客さまから好評を得ている。
- 地元商店街と一緒に作成した多摩産材の木材ベンチを設置した。トイレ、パウダールーム、ベビールーム、ラウンジの一体的な施設(ラウンジ)を設置している。
- 座席の幅を広く設計したオリジナルベンチを設置。(荷物を座席の横に置いたり、小さなお子様と一緒に座ることができ、どなたでも利用しやすいデザイン。) また従来のベンチより座面を 広くしたことで、間を一つ空けて坐りたくなるベンチの坐りづらさを解消し、着床率向上にもつながっています。
- ベンチについては、仕様を決め改良を行った。トイレは方針に基づき駅改装に合わせて改良している。
- 近年増設したベンチは、省スペース型を採用している。

ベンチ等で工夫している事例

－ 地方・中小 －

- お客様の要望によりホーム待合室新設 (H28・3)
- 自治体・観光協会等を巻き込んだ、観光地の一部としての整備事業に参加している
- 待合室内へのスピーカー設置 (案内放送等)。トイレに業務用消臭芳香剤の設置
- 洋式便器への交換および温水暖房便座の導入 (一部)
- ホームのベンチについては、開業時より跳ね上げ式のベンチを採用していたが、故障・破損等が多かったため、地場産業である鋳物を使用した固定式のベンチに変更した。
- 駅毎に背もたれの色を変えた。
- 一部駅構内は換気運転に限られているため、開業後、ホーム階にエアコンを完備した待合室を整備した。
- 既存のベンチが経年劣化していたことから、ゆったり寛げるよう、座り心地を重視し、清潔さや快適さを感じてもらえるようリニューアルを行なった (2017年6月)
- 今年度、駅BF化に伴い、多目的トイレを整備予定。(平成29年7月着工)
- リニューアルしたトイレにはパウダーコーナーや簡易型多機能便房を設置している。
- ユニバーサルデザインのベンチを導入。立ち上がりやすさを考慮した高さの異なるベンチ、肘掛け付きベンチを採用
- 平成24年にターミナル駅の改札外にトイレを増設。本年度より全駅の旅客トイレに手洗い洗剤と個室トイレにシートクリーナーを設置。本年度は2駅に温水洗浄便座を導入予定し、3カ年計画で全駅に導入する計画。
- トイレ整備について、既存建屋の躯体を利用することで、改修費用の圧縮に努めた。

－ 大都市大手 －

- 上記諸設備（ベンチ・トイレ等）の整備については、費用を要する一方で事業者の収益に寄与しないことから、**補助制度の確立**をお願いしたい。
- バリアフリー補助制度を活用して、トイレの多機能化については国へ要望を掲げているが採択はない。また待合室やベンチ設置について**自治体の助成制度**があれば活用していきたい。
- ベンチや待合室、トイレ改修に関して、**助成制度があれば**活用したい。
- 平成25年度から平成27年度の間には計画的にベンチを増設したところであるが、今後の増設についてはラッシュ時間帯のお客様流動等を考慮して慎重に行う必要がある。

－ 地方・中小① －

- 森林組合等への働き掛けによる、伐採木を利用したベンチ作成や教育実習等で制作された作品の展示を兼ねた設置
- トイレの改修については補修で対応している。大規模なものとなると自治体との連携が必要かもしれない。
- トイレの改善・設置時には、**行政からの助成**をお願いしたい。
- 駅舎施設は市の財産区分となっており、改修等は市の予算にて実施されている。
- トイレは、資金力等の関係から**市町村負担で設置**して頂いています。お客様からの設置要望は多く、市町村にも要望していますが設置に至っていない駅もあるのが現状です。弊社と致しましては、全駅設置になる事を望んでおります。

－ 地方・中小② －

- 駅周辺に新たに総合病院ができた駅が複数あり、高齢者だけではなく病院の利用者にも配慮し、ベンチ増設を計画をしたい。
- 車イス用トイレ増設(トイレのバリアフリー化)に伴う助成等
- 無人駅のトイレ等設備の維持管理
- 駅改札内にあるトイレの更新が必要な場合に利用できる補助・助成制度はないか
- 多目的トイレの増設や風よけ待合室のスペースの拡張を行いたいが投資余力がない為、助成制度などをお願いしたい。
- 県と連携し「●●●ビジタートイレ認証」を受け、観光客に向けて安全・安心・快適なトイレを提供している。
- トイレの設置・整備は、自治体をお願いしている。
- 自治体に助成制度がなく、設けてほしい。
- 清掃などの管理の難しさ